

信号変換基板

取扱説明書

接点 → RS232C (ステータスランプ対応)
SANYO プロジェクタ用 (LP-XP45)

(有) ロジックス

857-0055

長崎県佐世保市湊町2-15

電話 : 0956-25-3963

FAX : 0956-24-8564

E-mail : logix@lgx.co.jp

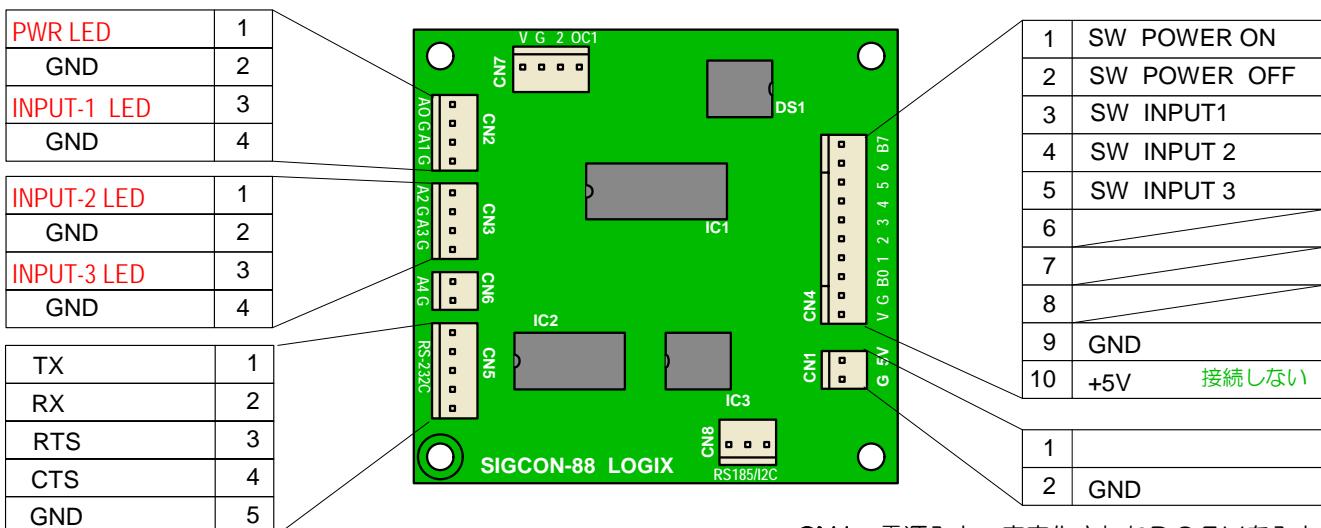
WebPage : www.lgx.co.jp

この変換基板は基板上の1チップマイコンのプログラムを調整することで、その機能を実現しています。

入出力の仕様は下記のとおりです。電源、および信号の極性には十分注意して配線してください。

注意点として、接点入力の信号線の長さは1M以内（できるだけ短く）、RS-232C信号は15M以内で使用してください。この長さは使用する環境により、左右されます。

LED出力電流は基板上で約15ミリアンペアになるよう制限しています。



CN2 : POWER LED 出力

PWR LED	1	○
GND	2	
INPUT-1 LED	3	○
GND	4	

電源OFF時にPOWER-ONスイッチを押すと、プロジェクタの電源が入り、ランプ点灯制御中になります。このとき、LED-POWERはオン3、オフ1の割合で点滅します。この期間すべての入力は無効になります。

電源オン時、POWER-OFFスイッチを押すと、消灯制御に移ります。消灯制御中は、LED-POWERが1対1の割合で点滅します。この期間すべての入力は無効になります。

電源オフへの移行時、今まで点灯していた入力ポジションランプはすべて消灯します。

電源オン時、入力切換スイッチ (INPUT-1, INPUT-2, INPUT-3) を押すとプロジェクタは対応する入力に切り替わります。このとき対応するLEDも切り替わり点灯します。

電源及び入力ポジションのLEDはプロジェクタの状態を反映しています。電源オフ時は入力切換は機能しません。

CN4 : パラレルコントロール入力

1	SW POWER ON
2	SW POWER OFF
3	SW INPUT1
4	SW INPUT2
5	SW INPUT3
6	
7	
8	
9	GND
10	+5V 接続しない

これらの端子をGNDに接続すると、該当するコマンドが出力されます。
この信号はグランドにショートした瞬間、出力されます。同時に複数選択することは禁止です。

CN5 : RS-232C入出力

TX	1
RX	2
RTS	3
CTS	4
GND	5

Dsub9P メスコネクタ

左図のように7-5をショートしてください

専用RS-232Cケーブル

